

# 令和5年度 組織目標

所属 総務部

## 【総務部 行動指針】

市民の安心・安全を全力で支えます

「選ばれるまち」をはじめ総合計画達成に取り組むチーム市役所  
を全力で支えます

そして、一人一人がつながり、成長します

No.	組 織 目 標	ページ
1	風通しの良い職場・働きやすい職場・やりがいのある職場、学び、チャレンジする組織風土、DXの推進を通じて、より自ら考え・行動する宮津市役所への変革（transformation）を進めます。	P1～ P2
2	市役所の庁舎のあり方・基本構想を方向付けします。	P3
3	持続可能なコミュニティのあり方について、自治会と連携し、検討を進めます。	P4
4	外国人が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市交流を推進します。	P5
5	地域住民の自助、共助と公助の連携・協働により、あらゆる災害から市民の生命と財産を守ります。	P6

# 令和5年度 運営目標

1	<p>風通しの良い職場・働きやすい職場・やりがいのある職場、学び、チャレンジする組織風土、DXの推進を通じて、より自ら考え・行動する宮津市役所への変革 (transformation) を進めます。</p>	 
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 風通しの良い職場、働きやすい職場、やりがいのある職場への変革 (transformation) ～市民、職員の満足度向上を目指して～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p>職員意識調査 満足傾向度 R4年度 55.8% → R5年度 70%</p> <p>時間外勤務削減 対H30 (一般会計) 比 40%減 (△30,000千円) の継続</p> <p>年休取得促進 年5日以上取得職員割合 R4:70.1% → R5:85%</p> <p>年12日以上取得職員割合 R4:36.6% → R5:50%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①職員意識調査及び業務改善提案制度による職場課題の把握と改善実施</li> <li>②時間外勤務の実績分析と管理職による総労働時間の適切な管理 (時間外勤務管理の事前届け出)</li> <li>③産業医や衛生委員会と連携したメンタルヘルス対策の実施</li> <li>④カスタマーハラスメント対策指針の策定 (9月) と実施</li> <li>⑤職員の兼業等による地域社会貢献活動の推奨</li> </ul>
	②	<p><b>【施策】</b> 学び、チャレンジする組織風土、より自ら考え、行動する宮津市役所への変革 (transformation) ～宮津市人材育成基本方針の推進～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p>階層別研修受研率 (指定職員が受研した割合) 100%</p> <p>能力開発等研修受研率 (いずれかの研修を受研した正規職員の割合) 100%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人を育てる人事管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員管理計画の改訂 (6月)</li> <li>・職員採用確保のための募集方法の改定 (実施時期、中途採用拡大) と採用に際しての支援制度の構築</li> <li>・民間人材の採用、民間企業との交流拡大</li> </ul> </li> <li>②あらゆる機会・場面を通じた能力開発の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員行動指針」の見直し (7月) と定着</li> <li>・年度研修計画に基づいた研修実施と受講管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>*階層別研修、能力開発研修 (庁内講師：予算づくり研修)、特別研修 (市長特別講座、職場エンゲージメント向上研修) など</li> </ul> </li> <li>・職員と市長との座談会 (新採職員、若手職員、女性職員) を通じた職員の成長意識の醸成</li> <li>・職員自己啓発助成制度の推奨</li> </ul> </li> <li>③人を育てる組織・職場への改革 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職のマネジメント力の強化 (R4 適性検査に基づく個人面談指導による適性把握と能力向上等)</li> <li>・エンゲージメントを高める給与体系 (評価に応じた給与体系) への転換</li> <li>・持続可能な組織体制の検討</li> </ul> </li> </ul>

運営目標	③	<p><b>【施策】</b> デジタル技術を活用した市役所サービスの高度化・向上 (transformation) ～行かなくてもいい市役所、書かなくてもいい窓口を目指して～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 市役所窓口サービス等の高度化・向上策の導入方針の決定 *DX推進計画実施計画策定において</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①DX推進本部・窓口高度化戦略検討チームの設置及び方策案作成 (9月メド) *オンライン申請業務の拡大、窓口体制の整理、バックヤード処理手法 出先窓口の見直し、市民支援体制の検討等</p> <p>②オンライン申請に必要なマイナンバーカード普及促進 (R5末:80%)</p>
	④	<p><b>【施策】</b> デジタル技術を活用した市役所業務の効率化・高度化 (transformation) ～スマート市役所を目指して～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 新たな価値創造のための時間創出:5,000時間</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①自治体標準化システムの導入(R7)準備(20業務):手順書フェーズ3まで</p> <p>②AI/RPAの導入拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RPA導入拡大準備:候補業務127について、採否及び導入手順整理。</li> <li>・AI-OCRの試験運用(介護保険関係業務)</li> <li>・AIを活用した自動応答サービス、自動文字起こしツール導入検討</li> <li>・AIチャットボット導入に向けた市HP内容充実</li> <li>・生成系AIの利用ガイドラインの作成</li> </ul> <p>③内部事務システムの効率化、運用改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX推進本部・内部事務効率化改善チームの設置及び方針案作成(12月メド)</li> </ul> <p>④庁内事務のさらなるデジタル化と業務改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループウェア運用整理及びビジネスチャット導入による庁内情報連携の省力化・円滑化(4,000時間)</li> <li>・マンスリーDXによる業務改善拡大</li> </ul> <p>⑤デジタル人材育成研修(職員研修)の継続実施、受講徹底</p> <p>⑥テレワーク・リモートワークの拡大:運用再整理</p> <p>⑦セキュリティ対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティポリシー改訂、システム運用ルールの徹底、職員研修</li> </ul>

2	市役所の庁舎のあり方・基本構想を方向付けします。	
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 市役所庁舎整備の基本構想を方向付けします</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 庁舎基本構想等検討委員会から「基本構想案」の提言</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①庁舎基本構想等検討委員会の運営支援</li> <li>②検討委員会検討段階における市民意向の把握</li> <li>③その他関係機関等との調整</li> </ul>
	②	

3	持続可能なコミュニティのあり方について、自治会と連携し、検討を進めます。		
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 自治会組織の持続可能性を確保するための自治会、行政が取り組むべき方策について、自治連として方向性を決める。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な自治会標準モデル」の作成</li> <li>・行政支援策（補助金等、委託・依頼事項等）リニューアル案の作成</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自治連（部会）における議論を活性化するため、           <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会にファシリテーターを配置</li> <li>・R3 検討経過（アンケート）、R4 検討経過（自治会役割の優先順位）</li> <li>・自治会側において若い世代、女性の意見を把握</li> <li>・行政の関与項目（委託事項、依頼事項、支援事項等）の再整理</li> </ul> </li> <li>②その上で、たたき台を提示する中、次の論点を整理           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治組織として自治会が果たす最低限必要な活動</li> <li>・行政と地域の自治組織の関係</li> </ul> </li> <li>③論点を整理した上で、           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会内コミュニケーション手法の研究（Ex. DX 活用等）</li> <li>・「持続可能な自治会標準モデル」の作成</li> </ul> </li> </ol> <p>*エリア連携構想の検討と連動して検討を進める</p>	
	②		

4	外国人住民が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市交流を推進します。 	
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 外国人住民が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりの推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 外国人支援者の拡大・養成講座修了者：10人</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日本語支援ボランティア養成講座開催：全5回／年 *京都府国際センターとの連携</li> <li>②外国人支援特集HP作成：7月末までに市HPに設置</li> <li>③外国人向けゴミ出しリーフレット作成：9月末までに</li> </ul>
	②	<p><b>【施策】</b> 姉妹友好都市間の交流を深め、国際感覚豊かな人づくりを推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 小中学校での姉妹都市間の学生WEB交流の実施：全校</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①国際感覚豊かな人づくりの基盤づくり、オールイングリッシュ授業の成果としてWeb交流：年2回以上／校</li> <li>②姉妹都市との訪問交流再開に向けた各姉妹都市交流協会の体制整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各協会活動の活発化支援</li> <li>・姉妹都市からの非公式訪問団の受け入れ</li> </ul> </li> </ul>

5	地域住民の自助、共助と公助の協働等により、あらゆる災害から市民の生命・財産を守ります。		
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> より実効性の高い原子力防災体制を確立する</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 原子力災害住民避難計画（改正）の住民周知（R4：50自治会目標）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①住民避難計画の周知活動：住民説明会（各自治連役員会等）、広報掲載</li> <li>②養老・日ヶ谷地区の放射線防護施設として養老地区公民館の整備完了する（3月）</li> <li>③京都府との連携による原子力防災訓練の実施（対象地区時期未定）</li> </ul>	
	②	<p><b>【施策】</b> 防災意識の高揚、自助・共助の取組強化による地域の防災力・減災力の向上</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①住民主体による地区防災計画作成の推進：5計画（作成自治会 26%⇒31%）</li> <li>②防災情報伝達の重層化（LINE防災情報の強化）：6月</li> <li>③防災行政無線の今後のあり方方針決定：11月</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①防災出前講座や自治会役員会での説明、風水害防災訓練にあわせた地域主体の防災訓練などを通じ、避難タイムライン・地区防災計画、施設の避難確保計画の作成を伴走支援</li> <li>②LINE活用による防災情報内容の充実・強化・発信を図る「スマート防災」を推進</li> <li>②防災行政無線の更新・長寿命化等、今後のあり方計画の作成（11月）</li> <li>③災害警戒／対策本部の運用訓練の実施（風水害・地震）</li> </ul>	
	③	<p><b>【施策】</b> 地域防災の中核である消防団組織の維持</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 消防団体制（7分団26部・支援隊）の維持</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①団員の負担軽減策（団長点検の改善：1分団2時間→1.5時間、訓練週3日以内）の実行</li> <li>②消防団の活動理解促進のための広報冊子「まとい」の発行（11月、3月）</li> <li>③消防団行事への子どもの参加継続及び事業所自衛消防隊との連携研究</li> <li>④消防団分団と地域が連携した防災訓練の実施（災害時避難行動円滑化事業など）</li> </ul>	